

岸和田版地域共生社会の実現のための枠組みの考え方

岸和田版地域共生社会の実現のための枠組み（案）の策定プロセスと論点を説明します。

全体構成は、「基本理念」、「事象・問題」、「計画の体系」となっています。

①基本理念（岸和田版地域共生社会）

現行計画の理念を引き継ぐとともに、発展的に継承するため、「包括的な支援体制の構築」を新たに理念として位置づけます。

【基本理念の5つの要素】

人権の尊重、自治型地域福祉の推進、増進型の地域福祉の展開
ソーシャルインクルージョンの実現、包括的な支援体制の構築

②事象・問題

市民アンケート、団体アンケート、関連計画における既存調査※、現行計画のふり返りから4つのアプローチから現状の問題点や取組事例を整理しています。また、市民アンケートについては、本委員会における現状に対する意見も含まれています。

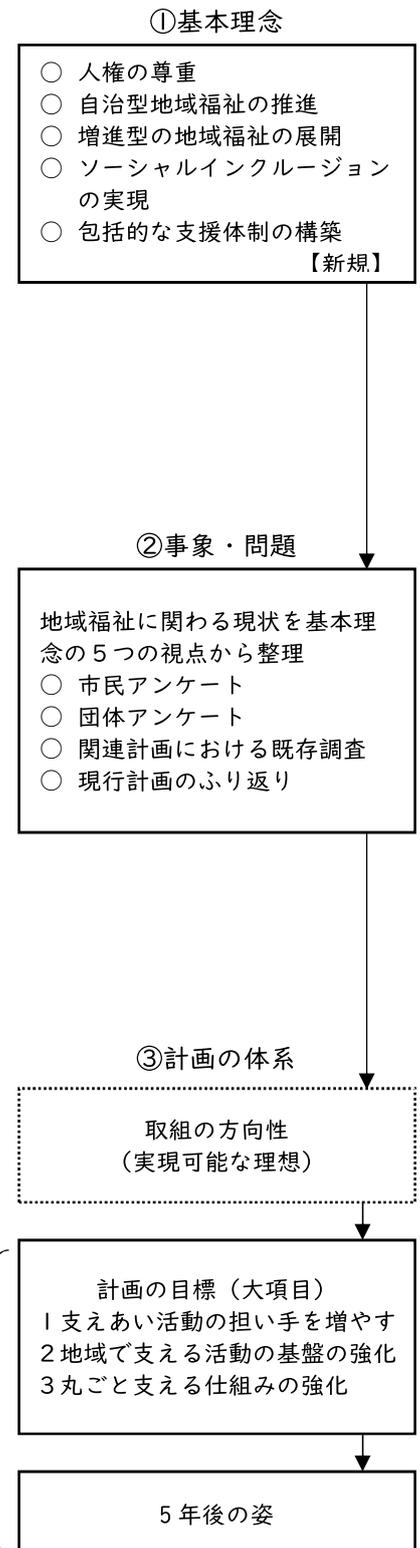
※【既存調査の対象調査】

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（R2）
- 障害福祉・障害児福祉に関するアンケート（R2）
- 子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査（H30）
- 「岸和田市保健計画ウエルエージングきしわだ2次計画・岸和田市食育推進計画 中間評価報告書 アンケート調査（H29元年）※アンケート部分
- 市民意識調査（R2）※懇話会

③計画の体系

計画の体系は、基本理念に向けて計画期間の5年で実現する姿、およびそれを実現するための目標※で構成されています。

計画の目標は、②事象・問題について取組の方向性を検討して、そこから計画の体系（大・中・小項目）に整理しました。



本日検討いただきたい事項

◆ 本日検討いただきたいこと

1. 「5年後の目指すべき姿」のフレーズ
2. 計画の目標

1. 「5年後の目指すべき姿」のフレーズ

基本理念の実現をめざして、次の5年間で実現しておきたいこと、実現すべきことを検討したうえで、計画案に記載するフレーズを決める

(事務局案)

フレーズ案：暮らしのなかで、支えあい、笑いがあふれるまち

【参考：現行計画】オール岸和田でつくる つながりと支えあいのまち

5年後の目指すべき姿（実現したいこと）：

地域において主体的に福祉やその他分野の課題や目標を話し合い、取り組むグループが複数できている。その担い手は既存の地縁組織（町会・自治会等）、テーマ型グループ（高齢者サロン、子ども食堂等）の担い手を想定している。

現行計画の市民懇談会プロジェクトの成果を引き継ぎ、次の5年間で育成するねらいもある。

「暮らしのなかで」・・・身近な生活圏

「支えあい」・・・住民が主体的に話し合い、取組を実践

「笑いがあふれる」・・・誰もがいまより、より暮らしやすくなっている

2. 計画の目標（事務局案）

計画の目標は、大項目・中項目・小項目で構成しています。大項目の考え方は、支えあい活動の担い手を増やす（大項目1）、担い手の活動基盤を強化（大項目2）、丸ごと支える仕組みの強化（大項目3）を目標の柱としています。

(1) 支えあい活動の担い手を増やす

(2) 地域で支える活動の基盤の強化

(3) 丸ごと支える仕組みの強化

- 主体的な担い手を増やす・支える
- 担い手の活動の基盤である組織・団体、情報発信、拠点等を強化

- 属性や制度に関係なく、包括的に支援するための仕組みを整備
- そのための地域、専門職、行政等のネットワークの強化